

## 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名	スミペックス (キャスト製法によるメタクリル樹脂板) * 本製品安全データシートが適用される製品については、 「16. その他の情報」を参照下さい。
整理番号	2FCA00000J00
会社名	住友化学株式会社
住所	〒104-8260 東京都中央区新川2-27-1
担当部門	メタアクリル事業部 アクリルシート部
電話番号	03-5543-5493
FAX番号	03-5543-5918

### 2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	複合材
化学名又は一般名	メタクリル酸メチルを主成分とする重合体
化学特性	(C <sub>5</sub> H <sub>8</sub> O <sub>2</sub> ) <sub>x</sub>

成分・含有量等	化審法番号	安衛法番号	CAS番号	含有量
メタクリル酸メチルを主成分とする重合体	(6)-524	公表	9011-14-7	98.2%以上
メチルメタクリレート	(2)-1036	公表	80-62-6	0以上1.8%未満

危険有害成分	PRTR法	安衛法 通知対象	毒劇法	CAS番号	含有量(%)
メチルメタクリレート	第1種	該当	非該当	80-62-6	0以上1.8%未満

### 3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性	
物理的及び	可燃性物質であり、熱や着火源があれば燃焼する。火気厳禁。
化学的危険性	
特定の危険有害性	加熱、溶融したポリマーに接触すると火傷をすることがある。
分類の名称 (日本方式)	分類基準に該当しない

#### 4. 応急措置

吸入した場合	非常に高温に加熱された時に発生する分解ガスを長時間にわたって吸入した場合は、被曝者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、速やかに医師の診断を受けさせる。粉塵を吸入した場合は、鼻をかみ、うがいをさせる。体を毛布などで覆い、保温して安静を保つ。呼吸が弱い場合や止まっている場合は、衣類を緩め呼吸気道を確保した上で、酸素吸入または人工呼吸を行う。呼吸をしながら嘔吐がある場合は頭を横向きにする。意識がない場合は口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてはならない。
皮膚に付着した場合	溶融した製品が皮膚に付着した場合は、衣服の上から大量の水をかけて十分に冷却した後、衣服を脱がせ、清潔なガーゼで覆って、速やかに医師の診断を受ける。
目に入った場合	微細な破片や微粉末が眼に入ると眼球を傷つける恐れがあるので、直ちに清浄な水で洗浄した後、眼科医の診断を受ける。眼をこすったり固く閉じさせてはならない。
飲み込んだ場合	直ちに吐き出させ、水で口の中をよく洗浄する。速やかに医師の診断を受ける。被曝者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。また、吐かせようとしてはならない。

#### 5. 火災時の措置

消火剤	水、泡、二酸化炭素、粉末、乾燥砂
特定の危険有害性	
火災時の特定危険有害性	消火作業の際には、適切な保護具を着用し煙を吸入しないように注意する。
特定の消火方法	火元への熱源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。燃焼または高温により有毒ガスが発生することがあるので、呼吸用保護具を着用する。周辺火災のときは、梱包体を安全な場所に移動する。移動が出来ないときは、梱包体に注水して冷却する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な処置をする。
消火を行う者の保護	消火作業は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。必ず適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクまたは空気呼吸器等)を着用する。

#### 6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項	作業の際には適切な保護具を着用する。付近の着火源となるもの
------------	-------------------------------

を速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。散乱した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。

**環境に対する注意事項** 散乱した製品が河川等に放出され、環境中の生物や水質に影響を及ぼさないよう全て回収する。

**除去方法** 散乱した製品を速やかに回収、清掃する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

取扱いは換気のよい場所で行う。屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業する。取扱い場所には、関係者以外の立入りを禁止する。取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。着衣、皮膚、粘膜に触れたり、眼に入らないように、適切な保護具を着用して取扱う。休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗い、うがいをする。また、休憩場所には汚染された保護具を持ち込んではいならない。火気厳禁。急激な温度変化を避ける。微粉は粉塵爆発性を有するため、微粉の捕集には防爆タイプの集塵機を採用する。

#### 注意事項

梱包体を転倒、落下させる、引きずる、または、梱包体に衝撃を加えるなど粗暴な取扱いをしてはならない。

#### 安全取扱い注意事項

特になし

### 保管

#### 適切な保管条件

直射日光、水濡れ、高湿、急激な温度変化を避ける。火気厳禁。乾燥した冷暗所に保管する。強酸化剤との接触を避ける。

#### 技術的対策

可燃物を近くに置かない。火気、熱源より遠ざける。

#### 混触禁止物質

強酸化剤

#### 安全な容器包装材料

紙または樹脂フィルムで表面を保護する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 設備対策

取扱い時に粉塵が発生する場合は、できるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用し、取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。

### 許容濃度

管理濃度 未設定

日本産業衛生学会（2005年度版）

〔その他の粉塵第三種粉塵〕 2mg/m<sup>3</sup>(吸入性粉塵) 8mg/m<sup>3</sup>(総粉塵)

A C G I H（2006年度版）

〔一般粉塵〕 3 mg/m<sup>3</sup>(吸入性粉塵) 10 mg/m<sup>3</sup>(総粉塵)

保護具	
呼吸器の保護具	製品の機械加工作業などに伴い、粉塵や破片が飛散する場合には、防塵マスクを着用する。
手の保護具	梱包体を取扱う場合は保護手袋(軍手、綿手)を着用する。
眼の保護具	製品の機械加工作業などに伴い、粉塵や破片が飛散する場合には、保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じ長袖保護衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観等	
物理的状态	固体
形状	板状
色	無色透明
臭い	無臭
pH	データなし
物理学的状態が変化する特定の温度/温度範囲	
沸点	[メチルメタクリレート]100.5℃ [フタル酸-nジブチル]340℃ (国際化学物質安全性カード、国立医薬品食品衛生研究所HP)
沸騰範囲	特になし
融点	[メチルメタクリレート]-48℃[フタル酸-nジブチル]-35℃ (国際化学物質安全性カード、国立医薬品食品衛生研究所HP)
分解温度	特になし
引火点	[メチルメタクリレート]10℃ (開放式)[フタル酸-nジブチル]157℃ (密閉式) (国際化学物質安全性カード、国立医薬品食品衛生研究所HP)
発火点	[メチルメタクリレート]421℃ [フタル酸-nジブチル]402℃ (国際化学物質安全性カード、国立医薬品食品衛生研究所HP)
爆発特性	[メチルメタクリレート]爆発限界1.7~12.5vol% (空气中)[フタル酸-nジブチル]爆発限界0.5(235℃)~約2.5vol%(空气中) (国際化学物質安全性カード、国立医薬品食品衛生研究所HP)
蒸気圧	[メチルメタクリレート]3.9kPa(20℃)[フタル酸-nジブチル]0.01kPa(20℃) (国際化学物質安全性カード、国立医薬品食品衛生研究所HP)
蒸気密度	[メチルメタクリレート]3.5 (空気=1) [フタル酸-nジブチル]9.58 (空気=1) (国際化学物質安全性カード、国立医薬品食品衛生研究所HP)
密度(比重)	[メチルメタクリレート]0.94 (水=1)[フタル酸-nジブチル]1.05 (水=1) (国際化学物質安全性カード、国立医薬品食品衛生研究所HP)
溶媒に対する溶解性	[メチルメタクリレート]水への溶解度 1.6g/100ml(20℃)[フタル酸-nジブチル]水への溶解度 0.001g/100ml(20℃) (国際化学物質安全性カード、国立医薬品食品衛生研究所HP)
オクタノール/水分配係数[A]	[メチルメタクリレート]1.38[フタル酸-nジブチル]4.72 (国際化学物質安全性カード、国立医薬品食品衛生研究所HP)

## 10. 安定性及び反応性

安定性	一般的な貯蔵、取扱いにおいて安定である。
反応性	なし
危険有害な分解生成物	燃焼時に一酸化炭素、二酸化炭素が生成し、非常に高温ではモノマーなどの分解ガスが発生することがある。

### 1 1. 有害性情報

急性毒性	情報なし
局所効果	情報なし
発がん性	(発癌性評価) 日本産業衛生学会：未収録 IARC：未収録

### 1 2. 環境影響情報

情報なし

### 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。
汚染容器・包装	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

### 1 4. 輸送上の注意

国連分類	国連分類の定義上、危険物に該当しない。
国連番号	なし
輸送の特定の安全対策及び条件	輸送前に梱包体の破損等がないことを確認する。水濡れを避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

### 1 5. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法（PRT法）	第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1）【320 メタクリル酸メチル】
労働安全衛生法	危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号）【4の3 その他の引火点0℃以上30℃未満のもの】【メタクリル酸メチル】 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）【557 メタクリル酸メチル】
消防法	指定可燃物（合成樹脂類）火災予防条例準則第34条【メタクリル酸メチルを主成分とする重合体】

	第4類引火性液体、第一石油類非水溶性液体（法第2条第7項危険物別表第1・第4類）【2 第一石油類非水溶性液体】【メタクリル酸メチル】
大気汚染防止法	揮発性有機化合物 法第2条第4項（環境省から都道府県への通達）【揮発性有機化合物】【メタクリル酸メチル】
	有害大気汚染物質 法第2条第13項（中央環境審議会答申、1996.10.18）【207 メタクリル酸メチル】
海洋汚染防止法	有害液体物質（Y類物質）（施行令別表第1）【296 メタクリル酸メチル】
	有害液体物質（Y類同等の物質）（環境省告示）【ロ-54 脂肪酸メチルエステル】【メタクリル酸メチル】
航空法	引火性液体（施行規則第194条危険物告示別表第1）【【国連番号】1247 メタクリル酸メチル（安定化されたもの）】
船舶安全法	引火性液体類（危規則第3条危険物告示別表第1）【【国連番号】1247 メタクリル酸メチル（安定剤入りのもの）】
港則法	危険物・引火性液体類（法第21条2、則第12条、昭和54告示547別表二ホ）【メタクリル酸メチル】
労働基準法	疾病化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条・別表第1の2第4号1・昭53労告36号）【メタクリル酸メチル】
	感作性を有するもの（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号、平8労基局長通達、基発第182号）【19 メタクリル酸メチル】

## 16. その他の情報

本製品安全データシートは、下記のスミペックス（キャスト製法によるメタクリル樹脂板）の製品に適用されます。

スミペックス	000～999（ただし、043、960を除く）
スミペックス	SA000～999（ただし、SA061、SA080、SA081、SA084、SA085、SA086、SA160、SA162、SA164、SA181、SA186、SA187、SA189、SA190、SA191、SA440、SA461、SA486、SA488、SA661、SA680を除く）
スミペックス	CX000～999（ただし、CX960を除く）
スミペックス	CE000～999（ただし、CE960を除く）
スミペックス	MT000～999（ただし、MT967を除く）
スミペックス	WT/KT
スミペックス	FT
スミペックス	HA
スミペックス	HR
スミペックス	LF
スミペックス	ST
スミペックス	AS
スミペックス	ML

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の実用を前提としたものであるため、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。